

愛知「発酵食文化」振興事業委託業務 仕様書

1 委託業務名

愛知「発酵食文化」振興事業委託業務

2 業務目的

近年、海外における日本食の需要と人気は顕著となっており、日本の食に欠かせない発酵調味料や発酵食品の需要も世界的に拡大している。

愛知県は、古くから多種類の発酵調味料や発酵食品を使った料理を通じ、特徴ある食文化を味わえる地域であり、現在の世界的な「発酵食文化」への関心の高まりは、愛知のデスティネーションとしての認知度向上につなげる絶好の機会となっている。

そこで、2024年5月に設立した発酵食に関わる有識者、業界団体、自治体、商工・観光団体等を構成員とする「愛知『発酵食文化』振興協議会」（以下「協議会」という。）において、本事業を実施し、地域をあげた愛知の「発酵食文化」の振興・国内外へ魅力発信することで、世界から多くの人を呼び込むことを目指していく。

3 委託期間

契約締結の日から 2027 年 3 月 18 日（木）まで

4 業務内容

受託者は、愛知県の観光産業及びインバウンド市場の現況を十分に理解した上で、本県の「発酵食文化」の振興及び国内外への魅力発信を効果的に実施できるよう、以下の業務を行う。

具体的な実施内容については、企画提案のあった内容を基に協議会と協議の上、決定するものとする。

(1) プロモーション関連事業

ア 飲食・宿泊事業者との連携業務・・・**別紙1**のとおり

発酵食に関する飲食店の登録制度（「あいち発酵食の館」登録制度）を軸に、愛知の発酵食をテーマとした店舗横断型の「あいちの発酵食フェア」を開催する。

イ アジア・アジアパラ競技大会でのプロモーション業務・・・**別紙2**のとおり

アジア・アジアパラ競技大会のメインメディアセンターに来ている、主として海外メディア（在日の海外メディア含む）を対象として、県内の発酵食スポットを視察・体験する FAM ツアーを実施する。

ウ 機運醸成イベントの開催業務・・・別紙3のとおり

愛知を「発酵食文化」の聖地としてブランディングするために、発酵食関係者や一般来場者を対象にした機運醸成イベントを実施する。

エ 展示会への出展業務・・・別紙4のとおり

2026年10月に開催が予定されている食の商談展示会「FOOD STYLE JAPAN 2026 <中部>」にブース出展し、食にまつわる業界関係者に対し、愛知の「発酵食文化」を観光資源としてPRする。また、来場者を対象とした蔵元見学ツアーも実施する。

オ 広報物の作成（増刷）業務・・・別紙5のとおり

「愛知の発酵食文化」の認知度向上とブランドイメージの浸透につなげるための広報物を増刷し、配布する。

(2) 体験型旅行商品の創出事業

ア 事業者支援業務・・・別紙6のとおり

インバウンド向けの発酵食文化を活用したコンテンツ造成に意欲のある事業者（蔵元、飲食・宿泊事業者）に対して、集団研修とマンツーマンでの伴走支援を行うプログラムを提供する。

イ ガイド育成業務・・・別紙7のとおり

愛知の発酵食文化の魅力を外国語で通訳できるガイド人材の育成を目的としたプログラムを提供する。

ウ 旅行商品の販売支援業務・・・別紙8のとおり

愛知の発酵食文化に関する体験コンテンツ・ガイド等をパッケージ化した旅行商品の販路開拓・プロモーションを実施する。

(3) 報告書等の作成

事業終了後、速やかに事業報告書及び事業報告書概要版を作成するとともに、業務完了届を併せて提出する。

5 全体業務スケジュール（予定）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
飲食・宿泊事業者との連携						飲食フェア →						
アジア・アジアパラ競技大会でのプロモーション					メディア向けFAMツアー →							
機運醸成イベントの開催								イベント ●				
展示会への出展							展示会 ●					
広報物の作成（増刷）		→		完成・配付 ●								
事業者支援プログラムの実施			事業者支援 →									
ガイド育成プログラムの実施			ガイド育成 →									
旅行商品の販売支援			旅行商品の販売支援 →									
総会★ 幹事会☆	☆★			☆							☆★ (書面開催)	

6 総括責任者等の設置及び事業計画の提出

- (1) 本事業の業務実施にあたっては、4の業務ごとに責任者及び担当者を定めるとともに、これらすべての業務を統括する統括責任者を置く。これらは実施に当たり十分な経験を有する者とする。
- (2) 委託事業の開始から終了までの間、事業実施方法や進捗状況の確認等、事業の円滑な実施のために、定期的に（月2回程度を想定）協議会と連絡調整を行う。
- (3) 契約締結後、速やかに実施体制及び今後のスケジュールを示した事業計画書を提出し、協議会の承認を得て業務を実施する。

7 成果品

(1) 成果物・部数

- ・事業報告書（全体・各事業）
- ・業務完了届

※各種紙媒体2部及びデータ一式

※納品にあたり、データの形式は、Microsoft社のWord、Excel、PowerPoint

のいずれかによるものとし、最終成果物及び関連資料のデータは、電子メールによる送信など、適切な方法で納品すること。

(2) 納入場所

愛知「発酵食文化」振興協議会（事務局：一般社団法人 愛知県観光協会）

(3) 納入期限

2027 年 3 月 18 日（木）

8 留意事項

- (1) 各業務に係る調整、編集・校正、制作・運用、調査、分析、報告等の一切の経費（交通費、宿泊費、機材費、各種データ費等）は、全て委託金額に含むこと。
- (2) 見積書や請求書においては、4に定める業務を項目ごとに計上し、積算すること。
- (3) 本業務を一部再委託する必要がある場合は、再委託先ごとの業務内容、再委託先の概要及びその体制と責任者を明記の上、事前に書面にて報告し、協議会の承諾を得なければならない。
- (4) 本事業の実施にあたっては、関係法令を遵守し、協議会と協議を重ねながら、適正に履行すること。
- (5) 業務上で事業者等へのアポイントメントや権利関係の申請などが必要となる場合は、全て受託者の責任において行うこと。
- (6) 本業務により制作された成果物の一切の著作権（著作権法第 27 条及び第 28 条の権利を含む。）は、完了検査をもって全て協議会に移転すること。
- (7) 成果品については、第三者の知的財産権を侵害していないことを保証すること。
- (8) 第三者が有する知的財産権の侵害の申立を受けたときは、受託者の責任（解決に要する一切の費用負担を含む。）において解決すること。
- (9) 本業務の実施に際して知り得た秘密を他に漏らしてはならない。また、業務終了後も同様とする。
- (10) 業務実施のための個人情報の取扱については、別記「個人情報取扱事務委託基準」を遵守しなければならない。
- (11) 受託者は、本業務に係る会計帳簿及び証拠書類について、事業終了年度の翌年度から起算して5年間、協議会の求めに応じていつでも閲覧に供することができるよう保存すること。

9 その他

本仕様書に定めのない事項及び本仕様書に定める内容について疑義が生じたときは協議会と受託者が協議の上、定めることとする。

飲食・宿泊事業者との連携業務

<業務概要>

飲食店の当事者意識の醸成と地域一体となった受入態勢の整備・強化と愛知の発酵食文化の魅力を訴求するために、飲食体験の機会創出に向けた飲食・宿泊事業者との連携事業を実施する。発酵食に関する飲食店の登録制度（「あいち発酵食の館」登録制度）を軸に、愛知の発酵食をテーマとした店舗横断型の「あいちの発酵食フェア」を開催する。

1 業務内容

(1) 愛知の発酵食をテーマとした飲食フェアの開催

愛知の発酵食を活用した多様な飲食メニューの魅力を通し、愛知県への観光の意欲を喚起するため、以下の飲食フェアを実施する。

ア 実施時期

2026 年 9 月から 10 月までの 1 か月程度

※アジア・アジアパラ競技大会期間中での実施を想定。

アジア競技大会：2026 年 9 月 19 日～10 月 4 日 アジアパラ競技大会：2026 年 10 月 18 日～10 月 24 日
--

イ 参加店舗

愛知の発酵食を活用したメニューを取り扱っている県内の飲食店（宿泊施設内にある飲食店設備を含む）20 店舗以上

※本協議会が創設した「あいち発酵食の館」登録制度において登録された飲食店を中心とする。登録店情報は協議会事務局から情報提供する。

ウ テーマ食材

愛知を代表する発酵食

（豆味噌、たまり、白しょうゆ、酢、みりん、日本酒、漬物など）

※使用するテーマ食材は愛知県内に事業所を有する事業者によって製造された発酵食に限る。

※メニューについて、既存・新規は問わない。

エ 実施内容

(ア) 参加店舗の募集

- ・愛知の発酵食を活用したメニューを提供する県内の飲食店に、飲食フェアへの参加を促すために、飲食店向けの案内資料を作成すること。
- ・事務局を設置し、飲食店募集、広報、取りまとめ、参加の調整、問合せ対応などの事務を適切に行うこと。申込状況は委託者の求めに応じ、適宜報

告すること。

- ・参加を希望する飲食店に対するメニュー開発支援を行うこと。（例えば、1店舗あたり5万円を上限とした発酵食に関する食材調達費・配送費の支援など）
- ・飲食店募集、選定については協議会事務局と協議の上行うこと。

<スケジュール（例）>

2026年5月：募集開始

6月：応募締切、選定、採択通知

7月：メニュー確定

8月：撮影／原稿確定、PR着手

9月：フェア開始

(イ) 飲食フェアの企画

- ・飲食フェア全体の世界観を統一し、参加店舗の連携及び利用者の理解促進を図るため、本フェアのコンセプトを策定のうえ、企画及び広報に反映させること。また、策定するコンセプトは、メディアに取り上げられやすい明確性・独自性を有するものとし、効果的な情報発信につながるよう留意すること。コンセプトは参加店舗にも共有し、フェア全体としての一体感が生まれるよう運用すること。なお、最終的なコンセプトは協議会と協議の上、決定するものとする。
- ・参加店舗の周遊促進を図るとともに、「愛知の発酵食文化」への関心を喚起する企画を実施すること。

<周遊促進企画（例）>

- ・店舗数又は発酵食ジャンル数をカウントできるデジタルスタンプラリーの実施。来店証跡は店舗設置の二次元コード又はレシート写真で担保。フェア終了後に抽選により記念品を提供。
- ・食材となる発酵食の種類や参加店舗のエリアが偏らないように留意すること。

(ウ) 周知活動

- ・飲食フェアに関する案内文を作成し、案内用ランディングページ（※）に掲載すること。
※案内用ランディングページは、本協議会が運営している特設サイト「あいち発酵食めぐり」の受託業者が作成する。
- ・飲食フェアの実施にあたり、PRツール（POP、ポスター等）を多言語（※）で制作し、実施店舗に配布し、掲出を促すこと。PRツールには、

「あいち発酵食の館」ロゴマークを活用すること。

※使用言語は日本語に加え、必要に応じて英語も併記すること。その他の言語については協議会と調整の上、決定すること。

- ・県内外の食に感度が高い人に情報が届くようにPRツールやWeb・SNS広告等を活用して効果的に情報発信を行うこと。

＜情報発信強化企画（例）＞

- ・フェア期間中、SNS等において1日1店舗を紹介する「デイリー紹介企画」を行い、フェア全体への継続的な関心を醸成する。

(I) アンケート

- ・参加店舗、利用者に対し、飲食フェアに関するアンケートを多言語（※）で実施すること。

※利用者向けに、使用言語は日本語に加え、必要に応じて英語も併記すること。その他の言語については協議会と調整の上、決定すること。

- ・アンケート数の増加につながる企画(プレゼント等)も併せて実施すること。

オ 留意事項

- ・飲食フェアの実施期間及び実施店舗、アンケート内容については提案に基づき協議会と協議して決定すること。また、提供形態はランチ、ディナーは問わない（テイクアウトは除く）。
- ・流通事業者等の参画及び流通形態の工夫などにより、飲食店等及び生産者等の受発注等にかかる軽減を図ること。

(2) メディア・飲食フェア参加店向け飲食フェア発表会の開催

愛知の発酵食文化の認知度、ブランド力向上を図るために、食を中心に、旅行や生活関連情報に関心が高いメディアを対象にした、(1)の飲食フェアの発表会を実施する。

ア 実施時期

2026年8月から9月頃まで ※(1)の飲食フェアの実施前

イ 実施期間

1日

ウ 実施場所

名古屋市内の交通至便かつ飲食可能な会場（調理可能であれば尚良い）。

（会場規模の目安：ビュッフェスタイルで100名程度）

※会場は協議会と調整して最終決定する。会場の手配及び支払は受託者側が行う

エ 対象者・人数

食を中心に、旅行や生活関連情報に関心の高いメディア、飲食フェア参加店舗、協議会構成員 80 名程度

オ 実施内容

(ア) メディア・飲食フェア参加店舗の募集

- ・広くメディアに対して発表会の開催を告知し、参加者を募集するとともに、その受付業務を行うこと。
- ・事務局を設置し、参加者の取りまとめ（受付）や問合せ対応などの事務を適切に行うこと。申込状況は委託者の求めに応じ、適宜報告すること。
- ・食に関心の高い国内外のメディア 100 媒体程度に対し、招請に係る情報発信（アウトリーチ）を実施すること。
※媒体には、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、Web メディア等に加え、フリーライターや SNS のインフルエンサー等を含むものとする。
- ・飲食フェア参加店 20 店舗に対し、招請に係る情報発信（アウトリーチ）を実施すること。

(イ) 運営

- ・会場の手配及び会場使用料等に係る支払を行うこと。
- ・会場を装飾し、愛知の発酵食文化の魅力が伝わるように工夫すること。
- ・会場受付、資料配布、進行、飲食物の提供、必要機材の調達及び操作等、運営の全般を行うこと。
- ・全体の進行要領を作成すること。
- ・司会者を手配すること。

(ウ) 試食手配

- ・会場では(1)の飲食フェアの実施店舗から一部メニューを参加者の試食用として提供すること。
- ・提供するメニューは、観光客の関心を引き、愛知の発酵食ならではの魅力的な料理等とすること。
- ・飲食物を提供する際は、参加者が試食しやすい形式（ビュッフェ形式等）で提供すること（目安：80 食程度）。
- ・最終的な実施内容については、企画提案を踏まえ、県と協議の上決定するものとする。

(エ) 事後リリース

- ・発表会終了後、発表会に出席できなかったメディアにも広く周知するため、発表会の模様をまとめたリリースを作成し、広くメディアに周知すること。

3 成果物

(1) 飲食フェア

- ・ P R ツール、P R 活動の報告（紙及びデータ）
- ・ 飲食フェア実施店舗リスト（紙及びデータ）
- ・ 飲食フェア等の写真（紙及びデータ）
- ・ 飲食フェアに参加した飲食店等の販売実績（紙及びデータ）
- ・ アンケート回答票（紙及びデータ）
- ・ アンケート分析結果（紙及びデータ）

(2) 飲食フェア発表会

- ・ 発表会のアウトリーチ先リスト（紙及びデータ）
- ・ 発表会の出席者リスト（紙及びデータ）
- ・ 発表会当日の議事録、記録写真（紙及びデータ）
- ・ メディアによる記事掲載の状況がわかる資料（紙及びデータ）

4 その他留意事項

- ・ 協議会公式 W e b サイト、S N S を活用した情報発信については、本協議会が運営している特設サイト「あいち発酵食めぐり」の受託業者との連携を円滑に行うこと。
- ・ 受託者は、事業の実施・運営に際し、委託者や実施する会場の管理者、他の関係機関等との連携・調整を行うこと。
- ・ 本仕様書に定めのない事項については、その都度委託者の指示を受けて処理すること。
- ・ 受託者は、委託者から業務の進捗状況を把握するために資料等を要求された場合には、速やかに提出すること。

アジア・アジアパラ競技大会でのプロモーション業務

<業務概要>

アジア・アジアパラ競技大会のメインメディアセンター（ポートメッセなごや（予定））に来ている、主として海外メディア（在日の海外メディア含む）を対象として、県内の発酵食スポットを視察・体験する FAM ツアーを実施することで、アジア各国での記事掲載を促し、本県の発酵食文化の認知度向上につなげる。

1 業務内容

(1) FAM ツアーの実施

ア 目的

アジア・アジアパラ競技大会のメインメディアセンターに来ている、主として海外メディア（在日の海外メディア含む）が FAM ツアーでの体験を基に取材・記事掲載することで、愛知の「発酵食文化」のブランドプロモーションにつなげる。

イ 実施内容

- ・実施時期：2026 年 9 月、10 月の大会開催期間及びその前後 5 日間程度

{	アジア競技大会：2026 年 9 月 19 日～10 月 4 日 アジアパラ競技大会：2026 年 10 月 18 日～10 月 24 日
---	--
- ・実施回数：6 回以上
- ・所要時間：1 回あたり 1 日 3～4 時間程度
- ・参加人数：1 回あたり最大 10 名程度（各回最小催行 2 名程度）

※その他詳細は協議会事務局と協議の上決定する。

ウ 参加者

- ・アジア・アジアパラ競技大会のメインメディアセンターに来ている、新聞、雑誌、Web サイト、テレビ、ラジオ等の各種媒体を有する主として海外メディア（在日の海外メディア含む）から参加者を募集すること。
- ・参加者の費用負担は観光情報の発信を条件に無償とする。参加したメディアの観光情報の発信内容の収集を行うこと。
- ・参加者がメディアであることを確認する方法については、協議会事務局と協議のうえ決定すること。
- ・参加者の募集方法は、参加者募集用ランディングページ（※1）とメインメディアセンター内ブースでの案内チラシの設置（※2）、県の各種媒体での宣伝、その他（受託業者による提案等）を想定。

※1：本協議会が運営している特設サイト「あいち発酵食めぐり」の受託業者による作成を想定。

※2：県が運営するメインメディアセンター内有人ブースを想定。

- ・海外メディアの利用を想定し、参加募集用ランディングページ等を経由して参加申込ができるWebフォームを日本語及び英語で作成すること。
- ・参加者募集のための案内チラシを日本語及び英語で作成し、周知を行うこと。また、効果的な参加者募集方法について提案すること。
- ・Webフォーム、案内チラシは2026年5月末を目途に作成すること。内容については、協議会事務局と協議の上決定すること。
- ・協議会公式Webサイト、SNSを活用した情報発信については、本協議会が運営している特設サイト「あいち発酵食めぐり」の受託業者との連携を円滑に行うこと。
- ・参加者への周知については、必要に応じて愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会主催者である公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会（以下「AINAGOC」という。）と連携すること。また、AINAGOCを通じて問合せ等があった場合には対応すること。
- ・協議会事務局が本事業の説明や周知等を行う場合は、資料の作成、翻訳対応等の業務を行うこと（AINAGOCが主催するメディア関係者向けの会議や、海外向けのPR資材の作成等を想定）。
- ・参加するメディアとの連絡調整、交渉を行うこと。
- ・協議会がターゲットとする台湾市場、香港市場、アメリカ市場に訴求力があるメディアだと望ましい。

<参加者募集スケジュール（想定）>

2026年5月末	FAM ツアーの内容確定
6月	FAM ツアーの案内通知
7月頃	参加意向の確認
8月頃	募集締切・参加者の確定
9月～10月頃	FAM ツアーの実施

エ 視察行程

- ・愛知の「発酵食文化」のブランドプロモーションにつながる視察行程とすること。
- ・視察行程が特定のエリア、特定の発酵食に偏らないように実施ツアーごとで行程を変えること。
- ・1日に複数回のツアー実施も可能とする。（午前1回、午後1回など）
- ・対象国・地域のFITの関心が高く、印象に残る記事が書ける発酵食文化に関連した施設（観光施設、飲食施設等）を選定すること。特に、飲食施設については、「あいち発酵食の館」登録店を優先して選定すること。
- ・行程及び視察先の情報は、受託者、協議会事務局員、ガイド兼通訳、視察先の所在する自治体及び観光協会等の関係者で共有し、効率的に視察ができるよう配慮

すること。

- ・できるだけ催行直前まで申込みが可能となるよう配慮すること。
- ・各参加者が属する国、地域、コミュニティ等の文化や、宗教等の多様な背景に配慮し、全ての参加者が不快に感じることはないよう体制を整備すること。
- ・視察先の所在する自治体及び観光協会等の関係者へは、予め視察時のアテンド等を打診しておくこと。
- ・視察先及び行程は協議会事務局と協議の上決定する。
- ・FAM ツアー中の取材内容や、撮影した写真等は各メディアで使用される可能性があるため、訪問する施設等から事前に使用の許諾を得ること。
- ・日程や人数に変更が生じた場合にも柔軟に対応すること。
- ・事前に訪問先と視察・体験等の時間・内容を調整するとともに、荒天時の代替先を確保すること。また、訪問当日はスケジュールを含め適切な進行管理を行うこと。

オ ガイド手配

- ・行程中は、愛知の発酵食文化に精通した経験豊富なガイドを同行させ、必要に応じて通訳（英語または被招請者の母国語）を兼ねるガイドをすること。

カ 行程資料の作成

- ・FAM ツアーの実施にあたり、愛知の発酵食文化の概要と視察先の詳細を記載した行程資料を作成し、参加者に配布すること。

キ 参加メディアへの掲載促進

- ・FAM ツアー終了後、被招聘者に対し、愛知の「発酵食文化」に関する記事を掲載するように促すこと。
- ・被招請者から、記事を書くために必要な情報提供の依頼があった場合は対応すること。
- ・被招請者から写真等の素材の提供を求められた場合は、協議会事務局との調整の上、相手方に提供すること。
- ・招請後に掲載される記事は事前に確認し、観光地名称等の誤り、事実誤認、不適切な表現等がないかチェックを行うこと。なお、記事は事前に協議会事務局にも報告することとし、記事内容の確認のため、和訳をつけること。

(2) FAM ツアーの運営

- ・参加者のツアー集合場所までの交通費（電車代、タクシー代等）及びツアー内の食事費用を負担すること。
- ・施設入場料及び参加料、取材・撮影用のサンプル代等、視察を行う上で発生する経費を負担すること（協議会事務局員及びガイドも含む。）。
- ・行程中に必要な移動手段（専用車）、食事等の手配を行うこと。
- ・食事は愛知の発酵食文化の魅力が伝わるものとし、文化的背景、アレルギー等に配

慮したメニューとすること。

- ・受託事業者の担当者が同行し、旅程管理を行うこと。
- ・県内での移動に専用車両が必要な場合は手配をすること。車両には、被招請者の他、協議会事務局員やガイド及び視察先自治体職員等が乗車することを想定すること。
- ・車両使用料、有料道路及び駐車場使用料等車両の運行に必要な経費を負担すること。
- ・ツアー趣旨や視察先の理解のための資料、行程表、訪問地のパンフレット等を準備し、事前に招請者に配布・説明すること。
- ・受託者の責めに帰すべき事由、または参加者の自己都合により参加が取り消された場合、それに伴い発生するキャンセル料（入場料、食事代等）は受託者の負担とする。

(3) アンケートの実施

- ・今後のメディア向けプロモーションの参考とするため、アンケートを作成し、参加者へ配布・回収すること。アンケート作成に係る翻訳も行い、内容は協議会事務局と協議の上、決定すること。
- ・アンケート結果を分析し、今後の取組への施策提案につなげること。協議会事務局への報告書は日本語で作成すること。

(4) 他業務との連携

「【別紙7】ガイド育成業務」と連携し、本FAM ツアーに同行するガイド（通訳）については、ガイド育成プログラムの昨年度修了生や今年度受講生から優先的に採用すること。

2 成果物

事業報告書（データ及び紙）

※下記の内容は必ず含めること。

- ・FAM ツアーの参加者一覧
- ・FAM ツアーの実施内容、記録写真
- ・招請したメディアによる記事掲載の状況がわかる資料
- ・FAM ツアー参加者のアンケート結果
- ・その他、協議会事務局が指示したもの

3 その他留意事項

- ・本仕様書に定めのない事項については、その都度協議会事務局の指示を受けて処理すること。
- ・受託者は、協議会事務局から業務の進捗状況を把握するために資料等を要求された場合には、速やかに提出すること。

機運醸成イベントの開催業務

<業務概要>

愛知を「発酵食文化」の聖地としてブランディングするために、発酵食関係者や一般来場者を対象にした機運醸成イベントを実施する。発酵食・発酵料理業界で世界的に影響のある著名人による講演や有識者によるパネルディスカッションを実施する。イベントには、発酵食に関心の高い国内外のメディアを招請し、情報発信を促進する。

1 開催概要

愛知を「発酵食文化」の聖地としてブランディングするために、発酵食関係者や一般来場者を対象にした、愛知の「発酵食文化」を楽しめるエンターテインメント性の高い機運醸成イベントを開催する。

内容については、契約後、企画提案に基づき協議の上、決定する。

	内 容
日時	2026 年 11 月下旬（予定） ※あいちウィーク（11/21～11/27）期間中の 1 日を想定
会場	愛知県内の交通至便な会場及びオンライン（ライブ配信及びアーカイブ配信） ※会場は事務局と調整して決定する。会場の手配及び支払は受託者側が行う。 ※発酵食に関連した象徴的な施設が望ましい。
内容	○イベント【計 3 時間想定】 ①開会・会長（愛知県知事）あいさつ【5 分程度】 ②著名人による基調講演【80 分程度】 ③有識者によるパネルディスカッション【90 分程度】 ④アンケート記入・閉会【5 分程度】
対象者・人数	・愛知「発酵食文化」振興協議会の構成員 50～100 名 ・発酵食への関心が高い一般参加者 100～150 名 ・発酵食への関心が高い国内外のメディア 20～60 名 （合計 200～300 名程度／オンライン参加者含む）

2 業務内容

(1) 著名人の招請

- ・3 年以内にテレビ番組、雑誌等メディアで紹介された発酵食・発酵料理業界で世界的に影響のある著名人を 1 名招聘すること。
（※影響力の目安としては、SNS における登録者/フォロワー数が 10 万人以上）
- ・特に、協議会がターゲットとする台湾市場、香港市場、アメリカ市場に対して影響力のある海外在住の方が望ましい。
- ・被招請者の愛知県までの交通費（飛行機代、新幹線代等）、愛知県内での滞

在費（宿泊代、食事代等）を負担すること。

※著名人の滞在期間は3泊4日を想定し、1日目、2日目はイベント前視察ツアー用、3日目は機運醸成イベント用としてスケジュールを確保すること。

- ・被招請者との連絡調整、交渉を行うこと。

(2) イベント前視察ツアーの実施

- ・招請した著名人に対して、イベント開催前に「愛知の発酵食文化」の魅力を体感してもらうための視察ツアーを実施すること。
- ・視察ツアーは1泊2日又は終日（1日）を想定し、愛知の発酵食文化に関するスポットを幅広く訪問できる行程とすること。視察するスポットは、エリアや発酵食の種類に偏りがないように留意すること。
- ・ツアーには、愛知の発酵食文化に関して精通したガイド・通訳を同行させること。
- ・著名人の視察ツアー中の移動・食事・宿泊等で、必要となる費用の支払いは受託者で行うこととし、必要経費は当委託費の中から支払うこと。
- ・著名人の視察ツアーの様子を動画で撮影し、イベント時や今後の協議会のPR活動で活用できるように編集すること。
- ・著名人のSNSにて、視察ツアーに関する情報を少なくとも1つ以上投稿してもらえよう調整すること。

(3) イベント会場

- ・会場は、アクセスが良く、協議会全構成員の収容が見込める場所を選定すること。
- ・会場の手配及び会場使用料等に係る支払を行うこと。
※会場は協議会事務局と調整の上最終決定する。

(4) イベント出演者・テーマ

ア 基調講演

- ・2(1)で招請する著名人とし、参加者にとって興味深い講演テーマを設定すること。
- ・講演では、世界から見た「愛知の発酵食文化」の魅力や、イベント前視察ツアーに関する話をしてもらい、「愛知の発酵食文化」のブランディングにつながる内容とすること。
- ・著名人が外国人の場合、愛知の発酵食文化に関して精通した通訳を手配すること。

イ パネルディスカッション

- ・パネルディスカッションは、インバウンド向け発酵ツーリズムを愛知県で推進していくにあたり、建設的な議論ができるテーマと、多様な視点を持った有識者3名程度をパネリストとして選定すること。パネリストは、基調講演者との兼務も可とする。

ウ 司会・進行

- ・司会・進行役を1名用意すること。
- ※出演者・テーマ等は協議会と調整の上最終決定する。

(5) 参加者の募集

- ・事務局を設置し、参加者の取りまとめ（受付）や問合せ対応などの事務を適切に行うこと。申込状況は協議会事務局の求めに応じ、適宜報告すること。
- ・参加者募集にあたり、PRツール（一般参加者向けの案内チラシ、メディア向けリリース資料等）を作成すること。
- ・県内外の発酵食に関心が高い一般参加者やメディアに対して、イベント開催の情報が届くようにPRツールやWeb・SNS広告等を活用して効果的に情報発信を行うこと。
- ・食に関心の高い国内外のメディア100媒体以上に対し、招請に係る情報発信（アウトリーチ）を実施すること。
- ※媒体には、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、Webメディア等に加え、フリーライターやSNSのインフルエンサー等を含むものとする。

(6) イベント当日運営

- ・受付、資料配布、進行、演出、会場整理など当日の運営を行うこと。
- ・全体の進行要領を作成すること。
- ・オンラインでの参加者も、会場参加者と差異なくイベントに参加できるよう、環境整備及び案内を行い、滞りなくイベントが開催されるよう運営を行うこと。
- ・イベント開催に必要な看板、機材、消耗品等の手配及びそれに伴う支払を行うこと。
- ・講演者等の謝金や旅費の支払、当日の送迎等の対応を行うこと。
- ・協議会が提供した事業に関する周知案内等を適宜配布すること。

(7) アンケート実施

- ・参加者へのアンケートを実施し、イベント終了後に集計・分析を行い、速やかに協議会事務局へ報告すること（アンケートの項目は協議会事務局と調整すること）。

(8) イベント終了後

- ・イベント後2週間以内に議事録及び記録用写真のデータを提出すること
- ・イベント後2週間以内に、イベントの様子を撮影した動画を多くの県民の目に触れる媒体で配信し、愛知の「発酵食文化」のブランド認知の拡大を図ること。配信期間は配信開始日から1か月程度を想定。
- ・イベントに出席できなかったメディアにも広く周知するため、イベントの様子をまとめたリリースを作成し、広くメディアに周知すること。

3 成果物

- ・ 視察ツアーの実施内容、記録写真
- ・ イベントの PR ツール、PR 活動の報告（紙及びデータ）
※アウトリーチ先リスト含む
- ・ イベント参加者リスト（紙及びデータ）
- ・ アンケート回答票（紙及びデータ）
- ・ アンケート分析結果（紙及びデータ）
- ・ イベント開催の記録・議事要旨、文字おこし（紙及びデータ）
- ・ イベント当日の議事録、記録写真・動画（データ）
- ・ イベント前視察ツアーの記録写真・動画（データ）

4 その他留意事項

- ・ 協議会公式Webサイト、SNSを活用した情報発信については、本協議会が運営している特設サイト「あいち発酵食めぐり」の受託業者との連携を円滑に行うこと。
- ・ 受託者は、事業の実施・運営に際し、委託者や実施する会場の管理者、他の関係機関等との連携・調整を行うこと。
- ・ 本仕様書に定めのない事項については、その都度委託者の指示を受けて処理すること。
- ・ 受託者は、委託者から業務の進捗状況を把握するために資料等を要求された場合には、速やかに提出すること。
- ・ 本事業の実施にあたっては、「愛知の発酵食文化」に関する普及啓発や関連取組を実施する民間事業者等と、必要に応じて連携を図り、相乗効果が得られるよう努めること。

展示会への出展業務

＜業務概要＞

愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）にて開催が予定されている食の商談展示会「FOOD STYLE JAPAN 2026＜中部＞」にブース出展し、食にまつわる業界関係者に対し、愛知の「発酵食文化」を観光資源としてPRする。また、来場者を対象とした蔵元等視察ツアーを実施し、食品バイヤー・シェフ等に直接、愛知の発酵食の魅力を訴求する。

1 開催日・開催場所等

開催日：2026年10月28日(水)、29日(木)

時 間：10:00～17:00 最終日は16:00まで

場 所：愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」（常滑市セントレア5丁目10番1号）

主 催：FOOD STYLE Chubu 実行委員会（事務局：株式会社イノベント内）

2 業務内容

(1) ブース出展

ア 出展内容

- ・愛知の発酵食文化を効果的にPRするブース（2小間以上）を設置すること。
※1小間は9㎡（幅3m×奥行3m×高さ2.7m）。
- ・愛知の発酵食文化の認知度向上、ブランド力強化につながるよう、ブースの装飾及び出展内容を企画・提案すること。なお、ブースを装飾する上で、必要となる場合は、効果的なPRツール（ポスター、パネル等）を作成すること。
- ・ブース内には、協議会構成員の商品等を展示して、PRするスペースを設けること。
- ・協議会構成員から商品の提供を受けるにあたり、構成員向けの案内資料の作成や収集した商品の管理を行うこと。
- ・ブースを出展する上で必要な資材はレンタルする等、受託事業者にて手配を行うこと。
- ・イベント時間内には常にスタッフを配置すること。

イ 運営管理

- ・実施までの全体スケジュール及びイベント設営・当日スケジュールを作成すること。
- ・PRブース出展の調整・手配を行うこと。なお、出展申込、出展料の支払は

受託者で行うこととし、必要経費は当委託費の中から支払うこと。

- ・ブース運営に十分な人数の人員を配置し、現場には十分な実績を持つ統括責任者を配置すること。
- ・ブースの設営・撤去を行うこと。
- ・実施に必要な物品の搬入出の手配をすること。
- ・ブース内のクレーム・トラブルへの対応等の運営管理を行うこと。また、来場者からの意見等を必要に応じて随時報告すること。
- ・ブース運営マニュアル等の作成を行うこと。
- ・必要に応じて出展者パスを手配すること。

(2) 蔵元等視察ツアー

ア 実施内容

- ・実施時期：2026年10月27日(火)予定
※「FOOD STYLE JAPAN 2026<中部>」開催前日
 - ・実施回数：1回以上
 - ・所要時間：1回あたり5～6時間程度
 - ・参加人数：1回あたり最大10名程度
- ※その他詳細は協議会事務局と協議の上決定する。

イ 参加者

- ・「FOOD STYLE JAPAN 2026<中部>」に来場する、食品バイヤー、シェフ、飲食店経営者等の食にまつわる業界関係者から参加者を募集すること。
- ・参加者の募集に係る業務は、「FOOD STYLE JAPAN 2026<中部>」主催者である株式会社イノベント（以下「主催者」という。）が窓口となって行う。ただし、以下の対応を行うこと。
 - 視察ツアーの案内文を日本語及び英語で作成すること。
 - 視察ツアーを実施する上で必要な主催者との調整を行うこと。
 - 株式会社イノベントを通じて問合せ等があった場合には対応すること。
- ・参加者との連絡調整、交渉を行うこと。
- ・参加者は愛知の発酵食の販売につながる食品バイヤー、シェフ、飲食店経営者等が望ましい。

<参加者募集スケジュール（想定）>

2026年7月下旬 募集開始
10月上旬 参加者確定
10月27日 ツアーの実施

ウ 視察行程

- ・愛知の「発酵食文化」の魅力が伝わる視察行程とすること。視察先には発

酵食関連の製造施設のほか、愛知の発酵食を活用したメニューを提供している飲食店（「あいち発酵食の館」登録店が望ましい。）も選定すること。また、食品バイヤー、シェフ、飲食経営者等の関心が高い施設を選定すること。

- ・行程及び視察先の情報は、受託者、協議会事務局員、ガイド、視察先の所在する自治体及び観光協会等の関係者で共有し、効率的に視察ができるよう配慮すること。
- ・視察先の所在する自治体及び観光協会等の関係者へは、あらかじめ視察時のアテンド等を打診しておくこと。
- ・視察先及び行程は協議会事務局と協議の上決定する。
- ・日程や人数に変更が生じた場合にも柔軟に対応すること。
- ・事前に訪問先と視察・体験等の時間・内容を調整するとともに、荒天時の代替先を確保すること。また、訪問当日はスケジュールを含め適切な進行管理を行うこと。

エ ガイド手配

- ・行程中は、愛知の発酵食文化に精通した経験豊富なガイドを同行させること。なお、必要に応じて、参加者の言語に応じた通訳ガイドを同行させること。

カ ツアーの運営

- ・ツアー参加者の食事費用を負担すること。
- ・ツアー趣旨や視察先の理解のための資料、行程表、訪問地のパンフレット等を準備し、事前に招請者に配布・説明すること。
- ・施設入場料及び参加料等、視察を行う上で発生する経費を負担すること（協議会事務局員及びガイドも含む。）。
- ・行程中に必要な移動手段（専用車）、食事等の手配を行うこと。
- ・受託事業者の担当者が同行し、旅程管理を行うこと。
- ・県内での移動に専用車両が必要な場合は手配をすること。車両には、被招請者の他、協議会事務局員やガイド及び視察先自治体職員等が乗車することを想定すること。
- ・車両使用料、有料道路及び駐車場使用料等車両の運行に必要な経費を負担すること。
- ・受託者の責めに帰すべき事由、または参加者の自己都合により参加が取り消された場合、それに伴い発生するキャンセル料（入場料、食事代等）は受託者の負担とする。

キ アンケートの実施

- ・今後の食にまつわる業界関係者向けプロモーションの参考とするため、アンケートを作成し、参加者へ配布・回収すること。必要に応じて英語も併記す

ること。

- ・アンケート結果を分析し、今後の取組への施策提案につなげること。協議会事務局への報告書は日本語で作成すること。

3 成果物

- ・ブース装飾、PRツール（ポスター、パネル等）
- ・設営状況、当日の運営状況等の記録写真（データ）等
- ・視察ツアーの参加者一覧
- ・視察ツアーの実施内容、記録写真
- ・視察ツアー参加者のアンケート結果
- ・その他、協議会事務局が指示したもの

4 その他留意事項

- ・ブース出展にあたっては、協議会構成員の団体・事業者と十分連携・協力し、一体となって効果的に愛知の発酵食文化の魅力を発信すること。
- ・イベント開催中に発生した事故による来場者の傷害及び協議会関係者の所有する器物等の破損・汚損等に対する補償に対応できるイベント保険の加入・手続を必要に応じて行うこと。
- ・委託業務の実施に当たり、障害や事故等の問題が発生したときは、事務局に遅滞なく報告するとともに、速やかに誠実な対応を行うこと。
- ・本仕様書に定めのない事項については、その都度委託者の指示を受けて処理すること。
- ・受託者は、委託者から業務の進捗状況を把握するために資料等を要求された場合には、速やかに提出すること。

広報物の作成（増刷）業務

＜業務概要＞

「愛知の発酵食文化」の認知度向上とブランドイメージの浸透につなげるための広報物を増刷し、配布する。

1 業務内容

(1) 広報物の作成について

協議会が昨年度作成した愛知の発酵食文化をPRするための広報物を増刷し、配布すること。増刷する広報物の電子データは協議会より提供する。

ア PRポスター

- ・B1判フルカラー印刷 300 枚以上、B2判フルカラー印刷 300 枚以上増刷すること。

イ PRチラシ

- ・令和8年度時点の最新の情報に内容を更新すること。更新する内容は協議会と協議の上決定すること。
- ・日本語版はA4判（両面フルカラー）で4,000 枚以上、英語版（両面フルカラー）はA4判で2,000 枚以上作成すること。

ウ PR冊子

- ・令和8年度時点の最新の情報に内容を更新すること。更新する内容は協議会と協議の上決定すること。特に昨年度作成したPR冊子の10ページ～15ページの発酵食体験スポットの情報については、掲載先に最新の情報を確認し、追記・修正すること。また、必要に応じて掲載スポットの見直し、修正を行うこと。
- ・日本語版はA5判×16ページ（フルカラー）で10,000 冊以上、英語版はA5判×16ページ（フルカラー）で3,000 冊以上作成すること。

エ あいち発酵食の館 登録店ステッカー

- ・本協議会が創設した「あいち発酵食の館」登録制度で登録された飲食店に配布するステッカーを作成すること。
- ・日本語版・英語版・日英併記版を3枚1セットで1,000 枚以上増刷すること。
1枚あたりのサイズは10cm 角。

(2) 広報物（増刷・仕様変更）に関する取扱い

ア 広報物の増刷部数について

- ・1(1)ア、イ、ウ、エで増刷する広報物の部数は、2025年度の配布実績を参考にしつつ、予算の範囲内で調整できるものとする。

イ あいち発酵食の館 登録店ステッカーの仕様について

- ・登録飲食店でのPR効果をより高めるために、より適した広報物の提案がある場合は、予算の範囲内でステッカーの仕様変更や広報物そのものの差し替えも可能とする。

(3) 広報物の納品・配布について

ア 納品期限

2026年8月28日（金）

イ 納品・配布方法

- ・納品場所は、受託者の管理する倉庫等とし、残数の管理を行うとともに、協議会が指定する場所への配布を行うこと。
- ・配布場所は下記を想定しており、最大のべ400か所の配布を行うこと。

【配布先】・協議会参画自治体

- ・県関係団体・発酵関連施設
- ・展示会、イベント等の実施会場

2 成果物

品名	データ	仕様	数量
PRポスター	ポスター	上記1 (1) アのとおり	
PRチラシ	チラシ	上記1 (1) イのとおり	
	電子データ (AI・PDF・JPEG)	電子媒体 (CD、DVD 等)	1 点
PR冊子	PR冊子	上記1 (1) ウのとおり	
	電子データ (AI・PDF・JPEG)	電子媒体 (CD、DVD 等)	1 点
登録店ステッカー	ステッカー	上記1 (1) エのとおり	

3 その他留意事項

- ・本仕様書に定めのない事項については、その都度委託者の指示を受けて処理すること。
- ・受託者は、委託者から業務の進捗状況を把握するために資料等を要求された場合には、速やかに提出すること。
- ・本協議会が運営している特設サイト「あいち発酵食めぐり」の受託業者との連携を円滑に行うこと。

事業者支援業務

<業務概要>

インバウンド向けの発酵食文化を活用したコンテンツ造成に意欲がある事業者（蔵元、飲食・宿泊事業者等）に対して、集団研修とマンツーマンでの伴走支援を行うプログラムを提供する。専門家からの助言、指導を受けながら県内のロールモデルとなるリーダー事業者を育成することを目指す。

1 業務内容

愛知の「発酵食文化」を活用したインバウンド誘客に意欲がある事業者に対して、事業者支援プログラムを提供する。なお業務の企画・実施にあたっては、協議会事務局が指定する県内の観光事業者（2事業者程度）と連携すること。

(1) 支援時期（目安）

2026年5月～2027年2月

(2) 支援対象

県内の発酵食製造事業者、飲食事業者、宿泊事業者等（以下、対象事業者）

(3) 対象事業者数

5事業者程度

<望ましい対象事業者>

- ・取り扱う発酵食の種類（味噌、しょうゆ、みりん、酢、日本酒、漬物、その他）が分かれていること。
- ・各事業者の所在エリアが異なり、地域的な偏りがいないこと。
- ・インバウンド誘客の意向があること。
- ・ハード面の補助（トイレの改修など）以外での支援を必要としていること。

(4) 対象事業者の募集・選定

- ・事業者支援プログラムへの参加を促すための案内資料を作成すること。
- ・事務局を設置し、事業者募集、広報、取りまとめ、参加の調整、問合せ対応などの事務を適切に行うこと。申込状況は委託者の求めに応じ、適宜報告すること。
- ・応募多数の場合の選考基準を設定すること。また、基準に基づき選考を行い、決定にあたっては協議会事務局の承認を得ること。また、決定の後には選考結果を応募者に通知すること。
- ・参加者の募集、選定については協議会事務局と協議の上行うこと。

(5) 支援者

観光コンテンツの造成やインバウンド誘客に精通した専門家を支援者として関与させること。

＜望ましい支援者＞

- ・インバウンド受入体制の改善やインバウンド向けのコンテンツ造成、販売、プロモーションに関するノウハウ・スキルを有していること。
- ・県内の対象事業者に対してコンテンツ造成を支援した実績があること。
- ・県内の対象事業者に対して、旅行商品造成・販売に関する支援の実績があること。

(6) 支援内容

以下の【A】と【B】の支援を組み合わせ、効果的な支援を実施すること。

【A】 集合研修（集合型ワークショップによる研修支援）

① 研修方法

対面又はオンライン

※対面開催の場合、対象事業者が集まりやすい会場とし、会場の手配及び会場使用料等に係る支払を行うこと。また、当日の会場設営、運営を行うこと。

② 研修回数

1回以上

※全事業者が参加することを基本とし、やむを得ず不参加となる事業者へは代替措置を何らか講ずること。

③ 研修内容

- ・研修内容は訪日外国人を対象とした愛知の「発酵食文化」を活用したコンテンツの造成や販売に役立つ内容とすること。また、【B】伴走支援と関連を持たせた内容とすること。
- ・対象事業者が自ら考え実践しながら知識・スキルを習得につなげるため、ワークショップ形式（参加者体験型）の研修とし、対象事業者が利用するワークシート等を用意すること。
- ・インバウンド誘客の主たるターゲット国として台湾・香港・アメリカを意識したものとする。

④ 研修の実施

- ・本業務を効果的なものにするため、最適な講師を選定し、派遣の調整を行うこと。
- ・研修を実施する上で必要なテキスト・資料・ワークシート等の作成及び対

象事業者分の印刷をすること。

- ・研修に係る一切の業務を請け負うこと。また、研修の開催に必要な環境は受託者が整えること。
- ・各事業者から問い合わせがあった際には迅速かつ丁寧に対応すること。

【B】 伴走支援（個社別のコンサルティング支援）

① 伴走支援者の派遣回数

1 事業者あたり 3 回以上

※計 15 回（5 事業者×3 回）以上の伴走支援を行うこと。

※現地訪問を基本とするが、オンライン等を組み合わせることも可とする。

② 伴走支援内容

- ・事業者ごとに課題やニーズを確認し、受入体制の状況に合わせた伴走支援内容を提案し、協議会事務局と協議の上で決定すること
- ・事業者ごとに基本的な受入スキルの底上げや体験コンテンツの磨き上げ等につながる伴走支援（助言・指導）とすること。

（具体例）

- ・施設での受入対応に関するアドバイス
- ・外国人向け説明資料の作成支援（看板、リーフレット、ガイド台本）
- ・新たなコンテンツの造成支援（ストーリーづくり、メニューづくり）
- ・コンテンツの販売支援（OTA 掲載支援、旅行会社紹介） など
- ・販売市場から逆算し、訪日外国人のニーズに沿った「売れる旅行商品」の造成を目的とした支援を行うこと。また、主たるターゲット国として台湾・香港・アメリカを意識したものとする。
- ・受入体制整備やコンテンツの磨き上げ等に必要な消耗品（例えば、トライアル実施に向けた原材料、案内看板、食器、安全装備等）などの物品を購入し管理すること。
- ・支援を受けた事業者が、今後の受入体制の改善に向けて取り組みたいこと等を記入したレポートを提出すること。レポートの様式については受託者が提案し、協議会事務局と協議の上で決定すること

(7) 他業務との連携

「【別紙 8】旅行商品の販売支援業務」と連携し、対象事業者の伴走支援したコンテンツに関して、海外旅行会社、ランドオペレーター等から評価・フィードバックをもらうこと。

2 成果物

事業報告書（データ及び紙）

※下記の内容は必ず含めること

- ・対象事業者一覧及び選定理由
- ・集合研修の内容、当日の実施状況、写真等
- ・伴走支援の内容、当日の実施状況、写真等
- ・専門家による支援内容及び支援を受けた対象事業者の対応内容（支援前後の違いが分かるようにすること）
- ・その他、協議会事務局が指示したもの

3 その他留意事項

- ・企画立案、資料作成、支援者派遣、参加の募集・とりまとめ、関係者との連絡調整等、集合研修、伴走支援に係る業務全般を実施すること。
- ・集合研修、伴走支援にかかる費用（人件費、旅費、使用料等）、その他委託者が認めた本事業の目的達成のために必要な費用を、本業務の委託料に含む経費とする。
- ・各事業者から問い合わせがあった際には迅速かつ丁寧に対応すること。
- ・対象事業者に対して、定期的に進捗確認を行い、状況を協議会事務局へ共有すること。
- ・本仕様書に定めのない事項については、その都度委託者の指示を受けて処理すること。
- ・受託者は、委託者から業務の進捗状況を把握するために資料等を要求された場合には、速やかに提出すること。

ガイド育成業務

<業務概要>

愛知の発酵食文化の魅力を外国語で通訳できるガイド人材の育成を目的したプログラムを提供する。「愛知の発酵食文化」の知識や専門用語などを学び、実践形式のワークショップを通して、即戦力として活躍できるガイド人材の育成を目指す。

1 業務内容

愛知県内の活動に意欲のある外国語ガイドに対して、「愛知の発酵食文化」の魅力を外国語で通訳できるガイド人材の育成を目的したプログラムを提供する。

(1) 研修の実施

ア 研修参加者の募集

【対 象 者】一定程度の英会話力を持つ者

- ※ 言語は英語を必須とし、必要と考えられる言語があれば提案とする。
- ※ 愛知県在住者又は在勤者を主な参加者とする。
- ※ 受講生の募集及び広く周知する方法を提案すること。
- ※ 令和7年度ガイド育成プログラム修了者は対象外とする。

【人 数】 6～10名程度

【留意事項】

- ・ 全国通訳案内士資格保有者、フリーガイドや今後ガイド業を志すものなど、幅広い層の参加者が集まるような方法で募集すること。
- ・ 応募に関する問合せに対応すること。
- ・ 個人情報の取扱い、セキュリティーには十分注意すること。また、応募者の個人情報は、本事業の関係団体に提供する場合があること及び協議会事業に関連する情報を送る際に使用することについて同意を得ること。
- ・ 研修に必要な、現地までの交通費及び飲食費に相当する額は、参加者負担とすること。

イ 選考

- (ア) 応募多数の場合の選考基準を設定すること。
- (イ) 上記基準に基づき選考を行い、決定にあたっては協議会事務局の承認を得ること。また、決定の後には選考結果を応募者に通知すること。
- (ウ) 選考結果に対する問合せに対応すること。

ウ 研修時期（目安）

2026年5月～2027年2月

エ 研修カリキュラムの策定及び実施

- (ア) 現地研修、座学、ワークショップを組み合わせたカリキュラムとし、それ

それぞれの日程や回数、内容などは研修の目的に照らして設定すること。なお、全体で3回以上の研修を実施すること。

- (イ) 研修の開催方法は対面又はオンラインとすること。
- (ロ) 研修内容は有償ガイドの人材育成につながるプログラムとすること。
- (エ) 講師は愛知の「発酵食文化」を活用したツーリズムに精通し、実績豊富な者を選定すること。
- (オ) 研修内容及び講師は、協議会事務局と協議の上決定すること。
- (カ) 参加者に対する連絡、出欠管理等の研修にかかる一切の事務連絡を行うこと。
- (キ) 研修の記録写真を撮ること。
- (ク) 研修会場を手配すること。会場が有料の場合は、当委託料から支払うこと。
- (ケ) プログラム内で使用する研修用資料及び、研修修了者への修了証等を作成すること。
- (コ) 全過程を修了した者に対し、修了証を発行すること。修了証の内容については、協議会事務局と調整の上決定すること。
- (サ) 研修終了後、参加者へアンケートを実施し、結果を報告すること。また、今後の改善案について提案すること。

オ 研修中のフォローアップ

研修中に受講者の学びを継続、促進させるフォローアップ事業について提案すること。

カ 研修後のフォローアップ

研修後に受講者の学びを継続、促進させるフォローアップ事業について提案すること。

(2) 研修参加者一覧表の作成

今後、協議会が実施する事業への参画を促すため、研修を修了した参加者からの同意を得た上で、一覧表を作成し協議会へ提供すること。

なお、受託者は契約期間終了後、一覧表及びそれに係る個人情報のデータを責任を持って廃棄し、完了報告を速やかに行うこと。

2 成果物

協議会が指定する期日までに、次の成果物（データ及び紙）を納品すること。

- (1) 参加者に投影・配布する研修用資料
- (2) 修了証
- (3) 研修参加者一覧表
- (4) 事業報告書（下記の内容は必ず含めること）
 - ・ 研修の内容・日程

- ・参加者一覧及び選定理由
- ・研修当日の実施状況、写真等
- ・参加者のアンケート結果・結果分析
- ・その他、協議会事務局が指示したもの

3 その他留意事項

- ・本仕様書に定めのない事項については、その都度委託者の指示を受けて処理すること。
- ・受託者は、委託者から業務の進捗状況を把握するために資料等を要求された場合には、速やかに提出すること。

旅行商品の販売支援業務

1 業務内容

愛知の発酵食文化に関する体験コンテンツ・ガイド等をパッケージ化した旅行商品に関して、海外販路の開拓・プロモーションを実施する。旅行商品のタリフを作成し、海外の旅行会社等への営業やプロモーション活動を通して、愛知の発酵食文化に関連した旅行商品の造成と実売につなげる。

(1) 実施時期（目安）

2026 年 5 月～2027 年 2 月

(2) 海外市場の主なターゲット国・地域

台湾、香港、アメリカ

※ただし、愛知県への旅行者数の拡大が見込まれる市場への取組等に対する提案がある場合は、新たなターゲットを設定しても差し支えない。

(3) 実施内容

以下の【A】～【C】の販売支援活動を通して、愛知の発酵食文化に関連した旅行商品の造成と実売につなげること。

【A】タリフ、モデルコースの作成

- ・旅行会社や取引業者向けに提案できる愛知の発酵食文化に関するコンテンツのタリフ（商品名、商品内容、販売手数料、所要時間、催行人員、手仕舞い日、申込先等が記載されたもの）を 10 種以上作成すること。
※必要に応じて、ガイド・通訳や交通手段等をパッケージ化すること。
※【別紙 6】「事業者支援業務」の対象事業者と連携し、優先的に対象事業者のコンテンツをタリフ化すること。
- ・上記でタリフ化した発酵食文化に関するコンテンツを含んだモデルコースを 6 種以上作成すること。ただし、モデルコースは発酵食のコンテンツに限らず、訪日外国人が魅力的に感じるコンテンツやスポット等も組み合わせて作成すること。
※愛知の発酵食を活用したメニューを提供する飲食店や宿泊施設（「あいち発酵食の館」登録店を優先すること。）が含まれるコースが望ましい。
- ・タリフやモデルコースは、発酵食の種類やエリアが偏らないように留意すること。
- ・販売先となる顧客（旅行会社、ランドオペレーター等）に合わせたタリフ、モデルコースを掲載した営業資料を作成すること。
- ・営業資料の作成にあたり、ターゲットとする国・地域の顧客に向けた翻訳を行うこ

と。

【B】 海外旅行会社、ランドオペレーター等への営業（展示会・商談会への参加など）

- ・ 海外市場の主なターゲット国・地域で開催される旅行業界関係者向けの展示会・商談会に1回以上参加すること。また出展料は受託者において負担すること。
- ・ 「愛知の発酵食文化」の魅力を訴求する上で、効果的な展示会・商談会を選定すること。
- ・ 展示会・商談会に参加する際には、モデルコースやタリフをまとめたチラシ等のプロモーションツールを作成し、来場者に配布すること。また必要に応じて、パネル等の展示物やポスター等を活用し、来場者に「愛知の発酵食文化」が魅力的に伝わるように工夫すること。
- ・ 海外での展示会・商談会等の機会を活用して、海外の旅行会社やランドオペレーターへの営業を行い、造成した旅行商品に対する評価・フィードバックをもらい、各社の営業状況を報告書にまとめること。
- ・ 営業は現地での対面商談（必須）に加え、オンライン会議や電子メールを用いた商談、FAMトリップでの面会など、効果的な方法を提案すること。
- ・ 事業者からの評価・フィードバック結果を分析し、今後の取組への施策提案につなげる。協議会事務局への報告書は日本語で作成すること。
- ・ 営業状況は協議会事務局の求めに応じ、適宜報告すること。
- ・ 委託期間終了までに、10社以上の事業者と継続的な情報交換ができる状態とすること。

【C】 販売促進に向けたプロモーション活動（広告、PR など）の実施

- ・ 旅行商品の実売に向けたプロモーションとして、旅行商品の情報をまとめたプロモーション用の資料を作成し、海外の旅行会社やランドオペレーター等に向けて、情報発信を実施すること。また、旅行商品のWebページ掲載等を通じて、効果的な販売体制の構築を行うこと。なお、いずれも、ターゲットとする国・地域の顧客に向けた翻訳を行うこと。
- ・ 必要に応じて、海外の旅行会社やランドオペレーターを対象にしたFAMツアーを開催し、旅行商品の販売促進につなげること。
- ・ ターゲットとする国・地域の食に感度が高い人に情報が届くようにWeb・SNS広告等を活用して効果的かつ多言語による情報発信を行うこと。
- ・ 受託者は、各旅行会社が造成・販売した旅行商品のパンフレット（デジタルパンフレット含む）、商品掲載ページの画面キャプチャ等や、WEBサイト・SNS等に掲載・投稿された情報をクリッピングし、報告すること。

2 成果物

事業報告書（※下記の内容は必ず含めること）

- ・タリフ、モデルコースの営業資料
- ・展示会・商談会の実施内容、記録写真
- ・海外旅行会社等への営業記録
- ・プロモーションの活動記録
- ・旅行商品の実売実績
- ・本事業を通じた分析、今後の取組への施策提案
- ・その他、協議会事務局が指示したもの

3 その他留意事項

- ・販売支援する旅行商品は、OTA と連携した個人旅行向け商品、ツアー等の団体旅行向け商品のいずれも差し支えない。
- ・企画立案、資料作成、関係者との連絡調整等、販売支援に係る業務全般を実施すること。
- ・販売支援にかかる費用（人件費、旅費、使用料等）、その他委託者が認めた本事業の目的達成のために必要な費用を、本業務の委託料に含む経費とする。
- ・本仕様書に定めのない事項については、その都度協議会事務局の指示を受けて処理すること。
- ・受託者は、協議会事務局から業務の進捗状況を把握するために資料等を要求された場合には、速やかに提出すること。